

まちの元気じるし登場 244

新潟県上越市名立区（旧名立町）は、上越市の最西端に位置し、西側は日本海、東側は妙高連峰に面する自然豊かな地域です。今回は、名立区で老舗飲食店として地域に愛されている、食事処ドライブイン「名立食堂」を訪ね、後継者で店長の高橋浩之さんにお話をお伺いしました。

小規模事業者だからできること… 地元から愛されるお店を目指して…



(有)名立食堂 (名立商工会)

〒949-1601 上越市名立区名立小泊123-1
TEL・FAX 025-537-2716

名立の海沿いには国道8号線が走っており、主要幹線道路として地域を支えています。名立食堂は、この道路沿いの日本海を一望できる場所に立地し、浩之さんの祖父母にあたる高橋希一さん、周子さんが、国道を走る長距離運転手を対象に飲食を提供するドライブインとして開業しました。当時は高度経済成長の真っ只中で、北陸自動車道も全線開通しておらず、日本海沿いに新潟県と北陸地方を結ぶ国道8号線は多くの交通量を誇っていました。名立食堂は、国道から直接乗り入れが出来るという好立地と、当時としては珍しくお風呂も完備しており運転手の休憩所としてその利便性の高さが受けて大盛況だったそうです。また、近くの海岸には、季節になると県内外から多くの釣り人が訪れます。この釣り客に、店の2階を宿泊や休憩用として提供したり、釣り客の利用が無いときには宴会場として利用するなど、地域を訪れる幅広い顧客を対象に、常に工夫しながら商売をしてきたそうです。

そんな、名立食堂ですが、現在まで順風満帆な経営が続いてばかりではありませんでした。昭和60年代に入り、北陸自動車道が全線開通し、車の流れが徐々に国道8号線から高速道路にシフトし始めると、交通量

の減少に伴い、売上が下降し始めるようになりました。店にとって苦境の時代が訪れたのです。

「いつの時代も、経営には創意工夫が大事だ」と、2代目で浩之さんの父親であった、光栄さんを中心に経営の見直しを図ってきました。今までの外来客中心の店づくりを変え、地元客が利用しやすいように工夫しました。中でも、ランチメニューの充実や宴会や宿泊を積極的に受け入れるようにし、苦境を何とか乗り切ってきたそうです。

そんな父の姿を見ながら育った3代目の浩之さんは、地元の高校を卒業し、東京の調理師専門学校で知識を習得した後、太田区の寿司店で7年ほど板前として修業を積んでいましたが、平成19年に、突然、父から「帰って来い」と言われ、地元に戻ってきたそうです。店に入ってから父に厳しく仕込まれ、今では店の調理は全て任されています。

店のメニューは、季節を問わず地元で獲れる新鮮な海の幸を活かしたメニューが特徴です。特に、「甘海老丼」「かに汁」はお店の一押しとのこと。「自分が腕を振るった料理を

食べ、お客様が喜んで下さる姿を見ると、一番やりがいを感じますね」と、浩之さんは語ります。また、今後の店づくりにも色々夢が広がります。高齢者に優しい店舗改装や、ネットを活用した若者や観光客向けの情報発信など、実に多くのアイデアがあるそうです。そのために、地元商工会の経営指導員と事業計画を作成し、小規模事業者持続化補助金を活用した取組を検討しているとのこと。

今回の取材は、平日のお店の休憩時間を利用して行ったにも関わらず、長距離運転手や地元のお客様が訪れていました。お店の方とお客様との何気ない会話からも、お店が地元から愛され、長く地元の食事処として支持されると改めて感じました。今後の益々の活躍が期待されます。



↑ 店舗外観
← 一押しの甘海老丼

「小口零細企業保証制度」はなじらね~!?

中小企業とともに歩む身近なパートナー

NSH 新潟県信用保証協会

制度の概要は、ホームページへクリック!

新潟 信用保証

検索

<3つのメリット>

1. 保証人不要 (法人代表以外)
2. 原則担保不要
3. 信用保証料率の割引有り



本店/新潟市中央区川岸町1丁目47番地1 (新潟県中小企業会館内) ☎025(267)1317
長岡支店/長岡市坂之上町2丁目1番地1 (長岡商工会議所内) ☎0258(35)5714
県央支店/三条市須頃1丁目17番地 (燕三条地場産業振興センター内) ☎0256(33)6661
上越支店/上越市新光町1丁目10番20号 (上越商工会館内) ☎025(523)7225
佐渡支店/佐渡市河原田本町394番地 (佐和田行政サービスセンター内) ☎0259(57)2011